

授業科目	スクールソーシャルワーク論				単位	2		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	WE31222J		
開講年次	4	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP3-2			
担当教員	高口 恵美							
授業概要	いじめ、不登校、非行など、子どもの表出する行動課題の背景には、友人関係、学校、家庭、地域など様々な環境要因が複雑に絡まり合い影響していると考えられる。 そこで本講義では、子ども達のおかれている環境や社会的背景について理解を深める。また、具体的事例を用いて学校で行うソーシャルワークの実際について解説し、教育と福祉や地域の連携について考察する。							
学生が達成すべき行動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールソーシャルワーカーの専門性や価値・知識・技術について理解する。 ・スクールソーシャルワーカーの歴史と発展の過程、その背景について理解する。 ・学校におけるソーシャルワーク実践の基本について考察する。 ・学校や関係機関の機能を理解し連携について考察する。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	80	0	0	0	10	10	100	
知識・理解 (DP1-1)	20						20	
知識・理解 (DP1-2)	30						30	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	10				10		20	
思考・判断 (DP2-2)	20						20	
関心・意欲 (DP3-1)						5	5	
関心・意欲 (DP3-2)						5	5	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ul style="list-style-type: none"> ・スクールソーシャルワーカーの専門性や価値・知識・技術について理解し、説明することが出来る。 ・スクールソーシャルワーカーの歴史と発展の過程、その背景について理解し、説明することが出来る。 ・学校におけるソーシャルワーク実践の基本について考察し、考えを述べる事が出来る。 ・学校や関係機関の機能を理解し連携について考察し、考えを述べる事が出来る。 				<ul style="list-style-type: none"> ・スクールソーシャルワーカーの専門性や価値・知識・技術について説明することが出来る。 ・スクールソーシャルワーカーの歴史と発展の過程、その背景について説明することが出来る。 ・学校におけるソーシャルワーク実践の基本について考察することができる。 ・学校や関係機関の機能を理解し連携について考察することが出来る。 				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション、スクールソーシャルワーカーに必要な知識	講義	講義範囲のテキスト通読	30分
2	学校とソーシャルワークの視点(社会的背景)	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲テキストの通読	60分
3	スクールソーシャルワークと専門性(価値・知識・技術)	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲テキストの通読	60分
4	子どもや家庭の社会資源と学校の関係①	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲テキストの通読	60分
5	子どもや家庭の社会資源と学校の関係②	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲テキストの通読	60分
6	スクールソーシャルワーカーの活用と学校体制の準備①	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲テキストの通読	60分
7	スクールソーシャルワーカーの活用と学校体制の準備②	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲テキストの通読	60分
8	スクールソーシャルワーカーの援助プロセス①	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲テキストの通読	60分
9	スクールソーシャルワーカーの援助プロセス②	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲テキストの通読	60分
10	事例で考えるスクールソーシャルワーカーの支援①	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲テキストの通読	60分
11	事例で考えるスクールソーシャルワーカーの支援②	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲テキストの通読	60分
12	事例で考えるスクールソーシャルワーカーの支援③	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲テキストの通読	60分
13	事例で考えるスクールソーシャルワーカーの支援④	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲テキストの通読	60分
14	事例で考えるスクールソーシャルワーカーの支援⑤	講義	前回講義範囲のテキスト通読 今回講義範囲のテキスト通読	60分
15	まとめ・ディスカッション	講義	前回講義範囲テキストの通読	30
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				

23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	「相談援助の理論と方法Ⅰ・Ⅱ」を履修し、相談援助の過程を理解し、プランニングに関する知識及び技能を身に付けている者がふさわしい。			
テキスト	スクールソーシャルワーカー実務テキスト 学事出版; 新版			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	スクールソーシャルワーク実践スタンダード 明石出版 スクールソーシャルワーカーのしごと 中央法規 スクールソーシャルワーカー実践事例集 中央法規			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	学校教育における課題や問題など、ニュースや新聞を通して情報収集してみましょう。			
達成度評価に関するコメント	試験、レポート。授業貢献度にて評価します。その詳細については講義内で説明いたします。			

